

事業所における自己評価結果(公表) 【児童発達支援】

公表: 令和 4年 2月 4日

事業所名: ガーデンキッズトリア

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・療育室(2部屋)、個別療育室(4部屋)、設けており、各療育室の人数を調整しながら活動を実施しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・職員配置においては、配置基準を十分に満たしています。事前に利用者数や活動内容に応じて職員配置の調整を行い、お子さまが安心して楽しく過ごせる環境を設定しています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・活動内容やお子さまの実態に応じて視覚支援(絵、写真)等を活用し、お子さまが見通しを持ち、安心して行動できるよう努めています。 ・事業所内に段差はなく、バリアフリー化されています。また、3階に事業所がありますがエレベーターが使用できます。	・今後もお子さまの実態に応じ、視覚支援等を取り入れ、分かりやすく安心して過ごせる環境の設定に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎日清掃、定時消毒等を行い、定期的な環境設備や安全点検に努めています。 ・各療育室に空気清浄機及び加湿器を設置し、消毒と換気を定期的に行い感染症予防の徹底に努めています。	・新型コロナウイルス感染症予防の為、引き続き定時消毒の徹底に努めます。 ・室内の温度及び湿度の調整につきましては、各部屋に計測器を設置し、必要に応じて空調や加湿器を活用しています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・療育前後のミーティングやチーム会議を設けています。ファシリテーター役を設定することで、全職員が意見を出しながら、納得感を持って、目標を決めたり、振り返りができるように努めています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・本アンケートや日頃の保護者からの意見等、情報は迅速に事業所内で共有し、改善策の決定事項まで話し合うことで業務改善に努めています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・毎年、自己評価を実施し、ホームページにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・第三者による外部の評価は受けていませんが、保護者アンケートによる評価や鹿児島市からの実地指導、消防署の立ち入り検査等、外部から評価を受ける機会があります。また、公開療育を実施した際、他事業所から頂いたアンケートも参考にしながら、必要に応じて業務改善に努めています。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・外部研修、園内研修、自主研修等を企画、案内しています。また、オンラインによる研修体制を整え、新型コロナウイルスの流行に影響されず、職員が研修を受けられるよう努めています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・個別支援計画の作成に伴い、定期的にモニタリングとアセスメントを実施しています。 ・個別支援作成会議では、児童発達管理責任者、ケース担当者、チームが参加し、日々のお子さまの様子や保護者からの聞き取り、発達検査結果、サービス等利用計画等から、今後の支援方法について話し合っ作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・新版K式発達検査2020、PVT-R絵画語い発達検査等を保護者承諾の上で実施しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・個別支援計画に発達支援(コミュニケーション、行動面への支援、食事、排泄等)、家族支援、地域支援の項目を設定しています。 ・保護者が見て、わかりやすく参考になる支援内容が記載できるよう努めています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・活動前後のミーティングで、担当者を中心に個別支援計画に沿った支援方法の伝達を行い、職員間で情報共有しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・毎月のプログラムについてはチーム職員や専門職員(公認心理師、言語聴覚士、理学療法士)の意見を取り入れながら作成しています。 ・活動前後のミーティングで意見交換を行い、ブラッシュアップすることで、よりよいプログラムになるよう努めています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・年間計画、月間計画を作成し、さまざまな活動を偏りなく経験できるようにしています。 ・発達段階に合わせた専門性と合わせて、お子さまが楽しく参加できる内容になっているかをチーム職員で話し合い、お子さまや保護者の意見も参考にしています。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・公認心理師、言語聴覚士、理学療法士と協力しながら、お子さまの実態に合わせて検討しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・活動前にミーティングを行い、作成した活動案を基に、活動の流れや支援内容を確認しています。また、お子さまの最近の状況や個別支援計画書に記載している支援内容について確認し、職員全体がお子さまの情報を共有したうえで支援するよう努めています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・活動後にミーティングを行い反省点や改善点を踏まえ、よりお子さまに合わせた支援方法の実践に努めています。 ・活動についてプログラムの修正が必要な箇所は情報を共有し、次の活動に活かせるよう努めています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・利用時のお子さまの様子について、毎日必ず支援日誌へ記録を残しています。ケース記録に関しては、ケースファイルに個別でまとめ、いつでも閲覧できるようにしており、活動内容や支援方法の改善に努めています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・ケース担当者、チーフ、児童発達支援管理責任者、専門職(公認心理師、言語聴覚士、理学療法士)等、複数の支援者による多角的な視点の意見を基にモニタリングの必要性を判断している。	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・サービス担当者会議については、児童発達支援管理者、支援課長、ケース担当者等が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・お子さまの利用開始時に、管轄の各保健センターへ情報提供を行っています。また、必要に応じて利用開始時以外にも保護者の同意のもと、関係機関と情報を共有し、連携を図っています。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症予防の為、実施できていないものもありますが、保健センターでの親子教室、総合発達相談会、かごしま北ネット、地域の子育て支援センター主催の地域支援者会議等への参加や公開療育の開催を通じ、関係機関との連携を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		・現在、医療的ケアが必要なお子さまはいませんが、利用の際は医療や併行通園先と連携を図る等、必要に応じて対応致します。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか)	○		・現在、医療的ケアが必要なお子さまはいませんが、緊急時に備え、契約時にかかりつけの病院の連絡先等を確認させて頂いています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・保育所等訪問支援等を活用し、直接訪問や電話連絡にて情報共有に努めています。 ・現在は新型コロナウイルスにより見合わせることもありますが、療育見学は随時受け入れております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・年長児のお子さまが就学へ移行する際は、夢すこやかファイルを作成し、保護者の了承を得た後、小学校へ情報提供を行っています。 ・かごしま北ネットや等へ参加し、情報共有と相互理解に努めています。	
関係機関や保護者との連携関係	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・事業所で公開療育を実施し、他事業所で行われている公開療育へも参加しています。また、関係機関で開催される研修会へも積極的に参加しています。 ・年2回、関係機関研修会を実施し、幼稚園や保育園、小学校、他事業所等へ案内を出し、関係者が集まり学び合える場を設けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・併行通園をされているお子さまは、幼稚園や保育園等で日常的に障害のないお子さまとも活動をしているため、幼稚園や保育園での集団活動の様子についても把握するよう努めています。 ・幼稚園、保育園に就園していないお子さまについては、状態像に合わせて、併行通園が望ましいと思われる場合、必要に応じて保護者に就園についての情報提供を行っています。 ・マルヤガーデンズと共同して、ハロウィンイベント等を企画し、地域社会の中で活動する機会を設けています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・理事長が子ども部会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・引き継ぎの時間や連絡アプリ(コドモン)を用いて保護者の方に活動内容や支援内容の説明を行っています。また幼稚園や保育園、家庭、事業所での様子について保護者と情報を共有できるよう努めています。 ・保護者の方が相談しやすいよう、定期的に個別面談の期間を設けたり、連絡アプリ(コドモン)を活用したりしております。また、必要に応じて面談は随時、実施しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・今年度は子育て支援講座(単日)を7月に実施し、ペアレント・プログラム(全6回)を9月に実施しています。今後も多くの保護者に参加していただけるよう、実施場所や時期等を検討してまいります。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に説明を行っています。また、契約後に保護者から質問があった等には、保護者の方がご理解、納得されるまで説明するよう努めております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・個別支援計画にガイドライン項目を記載しています。保護者への説明は、支援計画を基に疑問点がないか確認を行い、同意を得た上で個別支援計画を交付し、支援を実施しています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・個別相談の期間を設け全ての保護者へ案内しています。また、日々の引継ぎ時に随時相談を受け付け、必要に応じて職員や専門職員(公認心理師、言語聴覚士、理学療法士)と面談を設定しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・通常は毎年2回の合同保護者会と保護者懇親会を実施しています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保護者懇親会は中止いたしました。今後も感染対策を行いながら実施ができるよう検討いたします。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・随時、保護者の個別相談、電話相談、事業所内見学などの対応を行っています。また、連絡アプリ(コドモン)を活用し、保護者が相談しやすい体制づくりに努めています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月、おたよりを発行しています。新型コロナウイルス感染に関する情報等のお知らせや案内については、連絡アプリ(コドモン)を活用し、迅速に保護者に情報提供できるよう努めています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・幼稚園、保育園を訪問する際や連絡を行う際には、保護者の承諾を得た上で実施しています。	・個人情報の取り扱いには、細心の注意を払い、管理の徹底に努めます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・絵カード等の視覚支援の活用、視覚や音の刺激に留意した環境調整等、状況に応じた対応に努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・法人として秋祭りやみかん狩り、馬とのふれあい体験等を実施しています。 ・マルヤガーデンズと共同企画したペアレント・プログラムは、事業所の保護者だけでなく、地域の子育て世帯を対象に開催しています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・新型コロナウイルスに関する対策を別途作成し、細心の情報、地域の感染状況に応じて、安全な事業所運営に努めました。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・避難、消火訓練年間計画表を作成し、毎月1回避難訓練(火災、地震、噴火、津波、防犯)を実施しています。様々なシチュエーションを想定し、実際の災害時に落ち着いて対応できるよう、訓練の実施と振り返りを行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・契約時にお子さまの服薬状況等を把握し、確認を行った上で利用を開始しています。服薬等については書面に記録を残すことで正確な情報把握に努めています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・医師の指示書により、給食をアレルギー除去食にする等、対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハットが発生しやすい状況を分析、共有し、安全なサービス提供に努めています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止に関する研修を毎年行っています。 ・日々のミーティングやチーム会議等で虐待や虐待に繋がる可能性について話し合う機会を設けています。 ・職員が一人で抱え込まず協力体制をとれるように努めています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・基本的に身体拘束を行う場面はありません。障害特性により興奮状態に陥った場合等の対応について検討が必要な際は、保護者と丁寧に話し合い、情報を共有しながら支援方法を検討します。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。